商学部
The Faculty of Commercial Sciences

産 Industry　教 Education　街 Promotion of our community

研究トピックス

都市における人口、商業、公共交通の研究

専門分野

都市地理学　経済地理学

川瀬　正樹　KAWASE Masaki

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdygygsggy

研究概要

大都市郊外住民の通勤の男女差、住宅地の高齢化や交通問題、地方都市の商店街の現状と課題等について研究してきた。地理情報システム(GIS) を活用して人口や商業などを分析しているほか、広島平和学習への GIS の活用例を国内外の学会等で発表してきた。また、研究のため 1 年間、スウェーデンに派遣され、移民や環境に配慮した、北欧の持続可能なまちづくりの実践例を観察してきた。

研究シーズの応用

これまで、市史や町史の人口、都市、交通、商工業等の現代部分を執筆したほか、住宅団地を調査し、学生と住民とともに課題に取り組んだ実績がある。また、過去の空中写真（航空写真）と地図に関する講演や、地理情報システム（GIS）による商業分析の公開シンポジウムでの報告、GIS による初歩的な人口分析手法の地方自治体向けセミナーでの報告を行ってきた。さらには、GIS を平和教育に活用する学会イベントに、毎夏、主催者の代表者として参加している。まちづくりや都市・人口問題のほか、地図や GIS の分野でも地域社会に寄与できると考えている。

キーワード

都市　GIS　北欧

商学部
The Faculty of Commercial Sciences

観 Tourism　情 Information　街 Promotion of our community

研究トピックス

主にBig Data・GISなどを用いた観光行動・ビジネスの調査研究

専門分野

観光（観光ビジネス・観光行動）

金　徳謙　KIM Deokkyum

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygsykggy

研究概要

主に島嶼観光が周辺の地域にもたらす効果を、膨大な量の文字や画像、映像など、いわゆる Big Data を手がかりに研究しています。データの収集および分析には主に、（1）文字データにはテキストマイニング（内容分析）、（2）画像データには AI を応用した解析技法、（3）空間データにはデジタルマップの制作・操作・分析に欠かせない GIS（Geographical Information System）分析、を用いています。このため、従来の抽象的でわかりにくい結果とは異なり、より客観的で明確な結論を得ることができます。

研究シーズの応用

つぎのような 4 分野に応用ができると思います。

・地域の観光情報発信のための WEB 用 3 D 観光ガイドマップの作成
　GIS を用いた正確なデジタルマップを制作し、ホームページなどへの公開することで、地域の魅力を新たな感覚でアピールすることができます。
・地域における観光者の回遊行動の把握・分析
　来訪する観光客の行動を「多分」こうだろうと把握しているケースが多いと思いますが、観光者の行動を GPS などを使った調査により、より正確に把握することができます。このため、地域内における精度の高い観光計画や需要の予測などができます。
・観光者が地域に対してもっているイメージの分析
　アンケートなどによる調査では地域の立場から観光客が持っているだろうイメージを推測することはできますが、実際の観光客が持っているイメージを把握することは、ほぼ不可能です。観光客が SNS などに書き込んだ膨大な口コミや評価情報（いわゆるビッグデータ）を収集、分析することで、観光客の本

音を読み取ることができます。

・観光政策やまちづくりに必要な基礎調査

政策立案は正確なエビデンスに基づく必要があります。正確なエビデンスは精度の高い調査を行うことでこそ手に入れることができます。観光客の本音を読み取る、行動を正確に把握する、特徴を正確に把握するなどのことは、近年のビッグデータやＡＩ技術を応用した手法を用いることで必要なデータを入手することができるようになります。

キーワード

Big Data　GIS　観光　行動

商学部
The Faculty of Commercial Sciences

産 Industry　街 Promotion of our community

研究トピックス

公正かつ効率的な食品流通のあり方の追求

専門分野

食料流通学　農業市場論　農業経済学

矢野　泉　YANO　Izumi

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymidgeyeggy

研究概要

農業経済学の中の農業市場学という分野で、農産物・食品の流通問題に関わる研究を行っています。生産者が農産物や食品を持続的に供給できる仕組み、またそれら生産物を量的、経済的、社会的に消費者に安定供給するための社会構造や政策を研究しています。

これまでの主な研究テーマとして、まず東南アジアにおける日本産農産物の市場動向と日本農業、東南アジア及び東アジアの食生活、東南アジアにおける学校給食普及等アジアの農業・食料に関わる問題解決に現地調査をふまえ、現地の研究者とともに取り組んでいます。日本国内においては、卸売市場やスーパーマーケット、専門小売業者等流通関係者からの聞き取り調査や統計分析、政策分析を基に、取引上あるいは政策上の現状分析と問題抽出を行い、農業市場学的な理論的議論や、問題解決のための具体的議論を行います。

研究シーズの応用

・卸売市場の整備や経営展望作成等の相談、助言
・食料消費動向等消費者アンケート調査の分析
・商業の活性化支援
・農漁村地域の活性化支援

キーワード

農産物・食品流通　卸売市場　東南アジア

人文学部
The Faculty of Humanities and Human Sciences

産 Industry　街 Promotion of our community　福 Welfare　教 Education

研究トピックス

現代日本における性的マイノリティ／LGBT に対する社会意識に関する研究、クィアをめぐる表象文化に関する社会学的研究

専門分野

ジェンダー／セクシュアリティ研究、LGBTQ+研究、クィア研究、社会学

河口　和也　KAWAGUCHI　Kazuya

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymisgoyyggy

研究概要

近年、日本社会においても性の多様性や性的マイノリティに関する注目がなされるようになってきました。そうしたなかで、これまでは日本社会における性的マイノリティ／LGBTQ+に対する社会意識の研究を行ってきました。科研研究の研究チームの研究代表者として 2015 年、2019 年に全国を対象に社会意識を把握する大規模調査を行い、基礎的なデータを作成しました。これらの研究成果は、行政・教育・報道等で活用されています。

個人としては、社会学／クィア研究という領域のなかで、メディアにおいて性的マイノリティがどのように表象されてきたか／表象されているかの研究を行ってきました。とくに、テレビ／映画を中心に、そこに表れるセクシュアリティの表象や性的マイノリティの表象を考察する研究を行っています。また、近年は大都市ではない地域、いわゆる地方都市に生活する性的マイノリティの生活実態や直面する諸問題についての研究も行っています。

研究シーズの応用

2023 年 6 月に成立した LGBT 理解増進法では、行政・企業・学校等に対して性的マイノリティに対する様々な配慮・支援や相談対応等を推進していくことが明記されています。また、実際に、社会においてもダイバーシティの観点から、様々な領域で施策を実施することが要請されるようになってきました。

性的マイノリティに対する意識調査や生活実態の調査に関する成果を基盤にして、行政や企業・学校等における LGBTQ+に対応するための様々な調査企画や実際の対応・支援の方法についてのアドバイス提供で協力することは可能です。これまでにも企業や教育現場、行政に対する研修等では協力関係を構築してきました。

キーワード

LGBTQ+、人権、ダイバーシティ／エクィティ／インクルージョン

人文学部
The Faculty of Humanities and Human Sciences

観 Tourism

街 Promotion of our community

研究トピックス

伝統的な祭り・行事の継承、民俗文化財のまちづくり・防災・観光等への活用

専門分野

民俗学

三隅　貴史　MISUMI Takafumi

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymmoyysgggy

研究概要

人口減少・高齢化が進む中での、現代日本における伝統的な祭り・行事の維持・継承について研究してきました。その中でも、伝統的な祭り・行事に対する地域外参加者（よそ者）の参加が、主要な研究テーマです。これらの研究テーマと関係する現場を実際に歩いてみたいと思っています。

それ以外に、民俗文化財の保存や、民俗文化財の価値に関する教育普及、そして、民俗文化財のまちづくり・防災・観光等への活用についても研究しています。

研究シーズの応用

・継承が困難になりつつある伝統的な祭り・行事に対して、より「良い」祭り・行事の継承（あるいは、休止）についての助言等が可能です。大学生と共に祭り・行事に担い手として参加しながら、調査等を行うことも検討します。

・民俗文化財を利用した地域コミュニティの活性化・災害への抵抗力の涵養といった、幸福・安全に地域に居住し続けるための取り組みに対する助言等が可能です。民俗文化財の記録作成等もお引き受けできます。

・民俗文化財を利用した、観光・関係人口増加政策に対する助言等が可能です。

キーワード

民俗文化財、関係人口、防災

人文学部
The Faculty of Humanities and Human Sciences

教 Education　街 Promotion of our community　他 Other

研究トピックス

ひとづくりとまちづくりの好循環を創る学びのデザインとその社会的成果

専門分野

生涯学習論　社会教育学

山川 肖美　YAMAKAWA Ayumi

教員情報 https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymibgbgyggy

研究概要

1960 年代半ばにユネスコで生涯教育の考え方が提唱され、日本はそれをいち早く取り入れ、学校教育、社会教育、家庭教育の領域で様々な改革が実施されてきた。この改革の拡がりは、少子高齢化を伴う人口減少を背景に、教育領域にとどまらず、社会全体に広がりつつある。生涯学習担当部局の教育委員会から首長部局への移管化や 2018 年の中教審「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」における多様な人・セクター間の協働に関する記述等がその証左である。こうした中で、学びよりも地域づくりやまちづくりを偏重する動きもみられ、地域づくりやまちづくり起点の学びへの重点化が進み、結果として、地域課題解決や地域づくり・まちづくりに一見してつながらない学びの価値への軽視が一面でみられるようになった。

こうした現況と方向性に対して、ひとづくりとまちづくりの好循環を生む学びの仕掛けを創ることで、多様な学びに対する再価値化を図ることを目的に研究を進めている。まちの社会インフラとしての多様な学びの場や機能に着目し、先行する国内の市町やデンマーク・オーフスやアメリカ・ポートランド、ユネスコの学習都市（learning cities）等の思想と実装に学びつつ、その意義を整理するとともに、社会教育における個人起点の多様な学びを地域づくりやまちづくりの実践へつなぐための学びのデザインとそれが在ることによる社会的成果を明らかにすることに取り組んでいる。なお、ここでいう学びの社会的成果とは、学びによって「個人と社会にもたらされるすべての利益」（OECD Synthesis report2007）を意味するが、とりわけ、暮らしの質の向上とシビック・エンゲージメント（civic engagement）に焦点をあてている。

研究シーズの応用

世界に先駆けて少子高齢化を迎えた社会課題先進国・日本では、”新しい公共”の考え方のもとで世代や

立場を越えた人と人・知恵と知恵とのつながりにおいて、多様かつ未知の社会課題に向き合うことが地域や社会の持続には欠かせない。学習組織としての企業組織のあり方が提唱されたり、ワークショップと行政計画の策定を繋ぐコミュニティデザインを生業とする仕事が生まれたりなど、学習や教育が、学校を始めとする公的組織・機関にとどまらず、多様なセクターや場において創出され始めていることはその証左の一つであろう。

このように社会全体に必要とされ、拡がりをみせつつある学びの実践に対して、私の研究は、生涯学習論や社会教育学の視座から理論的根拠や実践のフレームを提示することができる。1990 年代にヨーロッパ諸国から始まり、2015 年にはユネスコが主導する学習都市ネットワークの促進により世界 600 都市に拡がった学習都市の思想と実践は、学びを社会インフラに据えることで社会的包摂とイノベーション創出を兼備する持続可能な都市を目指すものである。地域にある学習装置（学習機会や学習コミュニティ等学びへの出入り口となる場）を通じて多様なセクター、多様な世代、多様な立場の人たちがつながることで、人と人、人とまちが出会い・学びあい、その社会的成果として個人の暮らしの質が高まり、社会関係資本や経済活動・文化活動・地域活動等が生まれ、持続可能な地域社会を構築する。

こうした考え方により社会変革を志向する人や組織・機関とともに共同研究や研究成果に基づく諸計画の立案・実装の協働活動ができれば幸いである。（ご関心の方は、研究課題「オープンガバナンスによるまちづくりと生涯学習」（2018 年度ひろみら特別研究）、研究課題「学びから生まれるシビックエンゲージメントによる持続可能なまちの構築」（2019-2021 年度科研基盤 C 課題番号 19K02489）の研究成果をご一読ください。）

キーワード

学びのデザイン　持続可能な地域社会　シビック・エンゲージメント

経済科学部
The Faculty of Economic Sciences

産 Industry　街 Promotion of our community

研究トピックス

広義の地域産業振興

専門分野

地域産業政策論

太田　耕史郎　OTA Koshiro

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymikgyysggy

研究概要

地域産業振興のための方策（地域産業政策）を教育，暮らし，事業文化を含めて，また主に米国中西部の諸都市を参考事例として研究している。研究成果の一部は『地域産業政策論』,『ラストベルト都市の産業と産業政策』（何れも勁草書房）として発表している。

研究シーズの応用

地域の持続的発展には生活の基盤となる就業機会の創出，そして地域の状況に応じた地域産業政策が不可欠となる。その地域産業政策を研究課題としている。

キーワード

産業　街づくり　創造的事業文化

人間環境学部
The Faculty of Human Environmental Studies

環 Environment　街 Promotion of our community

研究トピックス

野生動物の生態を解明し、適切な保全・管理手法を考案する

専門分野

野生動物管理学

奥田　圭　OKUDA　Kei

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbkyogsggy

研究概要

野生動物、特に哺乳類、鳥類を対象とした生態研究に取り組んでいます。近年、シカやイノシシなどの野生動物の個体数増加・分布域の拡大が全国的に生じており、人間社会との軋轢が顕在化してきました。このような状況を軽減するため、野生動物がどのような生態をしているのか明らかにし、その情報をもとに、彼らをどのように管理または保全していけば良いのか考える、「野生動物生態学」、「野生動物管理学」、「保全生態学」をベースにした研究を展開しています。

研究シーズの応用

野生動物の生態調査や被害対策の指導等に対応可能です。

キーワード

野生動物　生態　農作物被害対策

人間環境学部
The Faculty of Human Environmental Studies

産 Industry　環 Environment　街 Promotion of our community

研究トピックス

地球温暖化防止のための炭素税やエネルギー政策などを研究

専門分野

環境経済学　環境政策論　持続可能な発展論

羅　星仁　NA　Sungin

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymimgigyggy

研究概要

再生可能なエネルギー普及のための国際的な研究を行った。再生可能なエネルギー導入による経済・環境への影響を計量的に分析し、その効果を明らかにした。現在は、再生可能なエネルギー普及のための東アジアにおける国際協力の推進および、原子力発電の可能性や安全性などをめぐる国際協力に関する研究を行っている。

研究シーズの応用

気候変動防止のための様々な政策がこれから導入されると思います。その中でも再生可能なエネルギーをめぐる政策や低炭素社会を実現するためのカーボンプライシングなどの議論で見れるように企業の負担増を伴う政策の導入が見込まれます。そのような政策への企業の対応などに協力できるところがあると思います。

キーワード

地球温暖化　再生可能なエネルギー　持続可能な発展

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

教 Education　街 Promotion of our community　他 Other

研究トピックス

ボトムアップなまちづくり・市民参画

専門分野

都市デザイン分野

木原　一郎　KIHARA　Ichiro

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdmgigbggy

研究概要

まちづくり、建築・公共空間の使い方の検討、建築設計の際に、一般市民がスムーズに参画できるような場・ワークショップ・アクションプランの計画などを行っています。特に市民参画が形骸化せず、今後自分ごととしての行動ができるようなプロセスや場について研究しています。広島市都心部での将来ビジョンを計画・実装していく取り組みを行っている#カミハチキテル- Heart of Hiroshima -にて実践的に研究しています。

またエリアマネジメントにおける協創のあり方を研究しています。協創が必要なことはみなさん理解されているところと思いますが、実現させるにはとても多くの壁があります。それを乗り越えるプロセスやアクションを実践的に研究しています。

研究シーズの応用

まちづくりへの一般市民の参画、建築設計や空間活用における地域住民の意見収集、地域の今度のまちづくりの方向性検討、これらの検討プロセスや場の設えなどにお困りでしたらお力添えできます。またエリアマネジメントの進め方もご相談ください。

キーワード

市民参画　ワークショップ　エリアマネジメント

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

福 Welfare　街 Promotion of our community　他 Other

研究トピックス

地域住民参加型の新しい民主主義のかたち

専門分野

政治学　政治理論　民主主義論

小須田　翔　KOSUDA Sho

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbkgdgeggy

研究概要

民主主義、とくに熟議民主主義を研究の対象としています。なぜ熟議民主主義がよいのか、どのような熟議の形態がありうるかといった理論的なことや、市民の方々が集まって話し合いをする中で、男性と女性の間のばらつきや集団の極化現象などが生じることの問題性についても関心があります。
主な研究手法は政治理論です。政治理論では、正義・自由・平等・民主主義といった抽象的な概念を哲学的に分析します。この分析を通して、ジェンダー不平等、差別、格差、移民排斥、環境破壊などがなぜ問題なのかについての知見を得ることができます。

研究シーズの応用

1．主に民主主義や熟議民主主義について研究してきたことから、それに関する「ミニ・パブリックス」や「くじ引き民主主義」についての知見を共有することができます。新たな市民参加の方法として参加型予算や住民討議会、気候市民会議などの運営に参画することもできます。
2．政治理論・政治哲学の知見を提供することができます。フェミニズム、構造的不正義、差別、経済的格差などの問題を、理論的な観点からご紹介します。

キーワード

市民参加、ミニ・パブリックス、熟議民主主義

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

街 Promotion of our community

他 Other

研究トピックス

自治体の政策プロセス（of の知識）と、個別分野における政策課題とその対策（in の知識）

専門分野

地方自治法　地方自治論　政策法務論

澤　俊晴　SAWA　Toshiharu

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdogygsggy

研究概要

これまでは、都道府県条例と市町村条例の関係、条例による事務処理の特例と権限移譲、行政不服審査法と条例に基づく処分、手話言語条例や補助金等交付条例、浸水対策推進条例など個別の条例、自治体における政策実施過程などについて研究してきました。

研究シーズの応用

主に自治体の法務関係を中心に実務経験を積み、研究してきたことから、それらに関する審議会委員等に対応することができます。

キーワード

条例論、災害予防法制、政策実施過程論、政府間関係論、行政不服審査法関係

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

街
Promotion of our community

研究トピックス

政策分野ごとの活動者のつながりを調べる

専門分野

公共政策論

広本　政幸　HIROMOTO Masayuki

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymimyoykggy

研究概要

子どもの支援を行っている民間団体が、同じ取り組みをしている他の民間団体とどのようなつながりを持ち、行政機関とどのようなつながりを持とうとしているのかということに対して、民間団体のどのような構造や仕組みが影響を及ぼしているかを確認する。

研究シーズの応用

民間団体が他の民間団体とつながりをもって事業を行おうとする場合、どのような条件を整えればいいかを検討することに、応用できると考えられる。

キーワード

政策ネットワーク　民間団体

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

産 Industry　教 Education　観 Tourism　環 Environment　街 Promotion of our community

研究トピックス

各個人の幸福感を高められる、市民参画による持続可能なまちづくり

専門分野

都市計画　都市戦略　環境システム

三浦　浩之　MIURA Hiroyuki

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiggsgsggy

研究概要

地方版総合戦略、長期総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、景観計画、環境基本計画、循環型社会形成推進地域計画、廃棄物減量等推進計画、住生活基本計画、社会資本総合整備計画、下水道整備計画等の策定に関連する研究に取り組むとともに、各自治体において、これらの策定にも関与しています。とくに、EBPM Evidence Based Policy Making）と市民関与による政策・計画の立案、オープンガバナンス、そして、これらに寄与するオープンデータに着目しています。

研究シーズの応用

政策・計画の立案における EBPM アプローチと、立案における市民関与の手法およびオープンガバナンス、そしてこれらに寄与するオープンデータについて、応用できるシーズを有しています。

キーワード

EBPM　市民関与　オープンガバナンス　オープンデータ　協働

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

街 Promotion of our community

他 Other

研究トピックス

地方自治体の行政管理、組織運営

専門分野

行政学 地方自治論 公共政策論

山中 雄次 YAMANAKA Yuji

教員情報 https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdigmgyggy

研究概要

地方自治体における行政改革、人事や組織運営を主な研究テーマとしています。とりわけ、2000 年初頭に地方自治体間で大流行した NPM の「その後の姿」について考察しています。これまでに、行政経営計画、政策評価、指定管理者制度、市民協働に関する研究成果があります。

研究シーズの応用

地方自治体での長年の実務経験とそれをベースとした研究を踏まえ、地方自治体が開催する各種委員会・審議会に参画し、議論に加わることが可能です。
また、担当するゼミナールの時間、自治体職員の皆様にご出席いただき、大学生と意見交換することも大歓迎です。若者の声を聴いてみませんか？

キーワード

地方自治、行政経営